

第22回 大阪南医療センター 免疫アレルギー疾患交流会

膠原病 そこが知りたい

講演 アレルギー科医員 石井泰子先生

免疫とは「疫を免れる」との名前のおり、体をウィルスや細菌などの微生物から守っているシステムです。この免疫のシステムがうまく働かなくなり、体に害を及ぼす微生物ではなく、自分自身の臓器を攻撃することで起こってくるのが膠原病です。

膠原病とはいくつかの病気をまとめて呼ぶ呼び名です。関節炎や発熱などの共通する症状もありますが、免疫システムが害を及ぼす臓器によって、皮疹・筋炎・腎炎・間質性肺炎などの様々な症状が起こります。

今回は、膠原病の症状、治療、お薬の副作用、日常生活の注意などについて、分かりやすくお話しします。

疑問・質問のコーナーもありますので、皆様の積極的な御参加をお待ちしています。

日時：平成20年11月20日(木) 14:00～15:30

場所：大阪南医療センター 免疫疾患医療研修センター 研修室

この交流会では、

免疫アレルギー疾患(じんましん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、花粉症、気管支喘息、関節リウマチ、全身性エリテマトーデスなど)の患者様やその御家族、およびこれらの疾患に関心をお持ちの方と医療スタッフが身近に交流を持ち、広く知識や情報を共有する機会を提供します。

どなたでも自由に参加できます(無料)。